

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスラン			
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和7年3月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	令和7年3月15日 ～ 令和7年4月14日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・徒歩2分で、江戸川に出ることができるので、安全な環境で江戸川ウォーキングやサイクリングといった、身体を動かすプログラムができる。 ・10歳から18歳という年齢層の利用者さんなので、部活動を意識したプログラムである。	・利用者さんの希望を聞いて、毎日ウォーキングやサイクリングを行っている。 ・自転車は4台ある。 ・卓球台を出して、卓球を週2回 ・ウォーキングで2Km歩いている	・公園で野球をやりたいというニーズがあり、グローブを3月に購入して、野球をやっている。
2	個別化を重視しているので、ニーズの発掘	活動を利用者さんと一緒に楽しむ	土曜日、コロナ前の活動を再開。調理と外出プログラム。
3	外部講師による、絵画教室、ダンス教室	絵画は、絵画展に出展している。年に2～3回 ダンスは大会に出場している。年1回	ダンス大会は、一般の大会に参加したので、子供から高齢の方まで参加していた。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	共有スペースが、広くない		外での活動を積極的に行っている 雨の日でも、利用できる公園に行く等
2	保護者様同士や地域の方との交流が少ない	長らくコロナウィルスの流行が見られたこと	ウォーキングの際は、地域の方と交流がある
3	防災訓練・避難訓練について一部周知漏れがある	同一法人の生活介護事業所れば、緊急時でもガスと電気が利用できる、そちらへ避難する旨を、面談の際に伝えていたが、徹底できていない	面談やノートに記載して、緊急時の避難場所を伝える